

むつ市議会「議会報告会及び市民との意見交換会」報告書

報告会名称	第6回 むつ市議会 議会報告会及び市民との意見交換会 (第 4 班)
開催日時	平成30年11月 7日 (水) 午後 6時30分 開会 午後 8時00分 閉会
開催場所	大畑公民館
出席議員等	佐々木 肇 濱 田 栄 子 浅 利 竹二郎 横 垣 成 年 斉 藤 孝 昭
参加人数	12名
報告内容	1. 第237回定例会審議内容 2. 平成29年度決算状況内容
報告に対する 質疑・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・歳入で市債の35億円と歳出公債費35億円が同じだということは過去の借金は減らないということか ・水道検針や料金の請求を2か月に1回とか回数を減らすと経費の節減になるのではないか（このことについて、過去に議員の皆さまにお願いしたが取り上げていない。議員は何もしていない） ・資料が多すぎる。節約の観点から必要最小限の配布物でよい。無駄だと思わないか（前回も言ったが、広報むつ等を持参してくださいとか資料について持参するよう指示してはどうか） ・外国人の生活保護者はいるのか ・白井議長が出席しないのは何故か
意見交換内容 (主な意見・ 要望等)	<ul style="list-style-type: none"> ・水道について、荒川の施設一箇所で関根まで供給するという事は、そこが壊れれば全部に水を供給できなくなる。それでいいのか ・荒川の水は日本一旨いので、いつでも飲める準備をすべき ・井戸水の水質検査を行政が行うべきではないか ・防災の観点から非常時の湧き水利用を行政主導で指導してほしい ・小さいハザードマップでは高齢者は理解できない。拡大したマップを地区ごとに絞って配付できないか ・新町地区が低地のため避難タワーを建設できないか ・津波を監視するライブカメラを設置できないか ・高齢者ばかりのところでは何かあったときにはどうもできないことを知ってほしい。また、そのことを現地で議員が住民とディスカッションしてほしい ・大畑公民館は老朽化しているにも関わらず避難所としていることに疑問を感じる ・ふれあい館は電気がないと何もできないので、停電時でも使えるように改善してほしい

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 停電時でも対応できる避難所にしてほしい ・ 豪雨で避難勧告が出、避難所が設置されたが、役所の職員は3時間毎に交代するし、どこの川が氾濫しそうなのか聞いても答えない。そんなことでいいのか。職員の危機感がない ・ 大畑庁舎には職員が少ないため何もできない ・ 災害に強い街とは、平常時でも住みやすい街だと思うが、また、住みやすい街とは、病院、消防、警察、交通網が整備されていれば、災害時に威力を発揮すると思うが、むつ市ほどの程度整備されているのか。また、旧むつ市と大畑町、川内町、脇野沢との格差はないのか ・ 住民の防災意識を高める必要がある。また、その時のために様々な備えをする必要がある ・ 食料品の備蓄には果物等が必要ではないか ・ 家族内で災害があったときの話し合いが必要ではないか ・ FMアジュールで防災情報をもっと流すべき（夜間の対応はどうか） ・ 原発で事故が起きた場合、どこに避難するのか分からない ・ 昨年それに関して訓練を行ったが、高齢者は大変です。よって、大畑町民の避難は別の方法を考えてほしい ・ 大畑のフェリー埠頭を災害時の避難に利用できないか ・ 漁業者が埠頭を自由に使っていることは腑に落ちない ・ 道路整備をもっと進めてほしい ・ 大畑漁港から外国の漁船が入ってきたときの対応をきちんとしてほしい ・ 密航者の監視はどのようになっているのか ・ 大畑海水浴場の流木を行政で撤去できないものか
<p>記録者所見</p>	<p>特になし。</p> <p style="text-align: right;">記録者氏名 <u> 齊藤孝昭 </u></p>

むつ市議会議長 様

むつ市議会議会報告会及び市民との意見交換会の実施に関する規程第10条第1項により提出します。

平成30年11月16日

代表者 佐々木 肇 ㊟